

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・若干希望的観測もあるが、雰囲気からいけば明るさが少し増している。しかし年金問題等の暗い話題がネックになっていく。
		商店街（代表者）	・暖かい春が早目に到来するような期待があり、飲食店の対応策が功を奏してくる。
		百貨店（企画担当）	・出店状況や競合店の改装状況等も含め、投資が活発化している。地方にも投資意欲が出てきていると感じている。
		百貨店（売場担当）	・これから3月に向け、マザーニーズなど各行事やセレモニーなどがあり、当店としても新しい仕掛けや品ぞろえで客の購買意欲を促す作戦を展開するため、景気は上向く。
		コンビニ（エリア担当）	・衝動買いは相変わらず少ないが、本当に必要な商品は、安くなくても動いており、高額商品でも必要なものは動いている。
		コンビニ（エリア担当）	・酒類販売の自由化により販売を始めた店舗が好調に推移している。
		コンビニ（店長）	・企業の設備投資が活発になってきており、中国への輸出産業も好調を持続しており、わずかながらでもじわじわと回復の兆しが見えてきている。 ・依然としてデフレ傾向にはあるが、その反動で良い商品を欲するようになってきている。
		衣料品専門店（経営者）	・暖冬のため防寒衣料が不振で、婦人服専門店は大きな打撃を受けているが、春の兆しが早く、天候も暖かくなったため、春物の動きが例年より早くなっており、今後の動きに弾みをつける。
		観光型ホテル（経営者）	・現時点での予約状況は遅く、昨年より5%ほど少ない。しかし電話受付も増え、インターネットによる予約も増えつつある。今後は歓送迎会や企業関係の総会などに期待している。 ・客の館内消費が多少明るくなっている。 ・これまで目玉としてきた日帰りコースが他館に分散している。
		観光型旅館（経営者）	・3～4月共に予約が先行している。前年よりはプラスにできる見通しであり、空き日をどれだけ早目に埋められるかが課題である。企画募集もののまとまりが比較的良好。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会部門の予約状況は前年同日比で20～30%上回っているが、過去の事例から順調に推移するとはいえない。とはいえ期待感を持っている。
		住宅販売会社（経営者）	・新設した展示場への来場者は多いが、展示場来場者の選別する目が厳しくなっている。住宅会社の選別も強まっており、価格面、品質面での二極化も進んでいる。今後はこうした部分を強化する必要がある。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅だけでなく、RC賃貸マンションの確実な受注も数棟予定があり、資産運用を見直す客が増えている。
			変わらない
スーパー（経営者）	・価格は下がったままのこの状態が続く。どこかが市場から退場しない限り、良くはならない。		
スーパー（経営者）	・食にまつわる業種では、基本的な消費スタンスに大きな変化はない。しかし安心、安全、健康といった観点から、今後客の支持が集まる商品と支持を失う商品など、中身に変化が現れる。マクロの景気や総売上等には大きな変化はなくても、中身がかなり入れ替わると考えている。		
スーパー（店長）	・必要な商品は買い回りしながらでも購入しているが、嗜好性のある商品は買い控え傾向にある。		
スーパー（総務担当）	・全体としては、前年比100%ジャストであり回復しているように見えるが、ここ1～2か月が底を打ったという感じである。2～3か月先もこの状態が続くと思われるが、各社が出店を加速させ小売的には厳しい状況がまだ続く。		

	スーパー（企画担当）	・生鮮の各部門が現在そろって低調である。特にBSEによる牛肉、鳥インフルエンザによる鶏肉の消費が減少し、野菜についても市況安が消費拡大に結び付かず、今後も厳しい状況が続く。
	衣料品専門店（店長）	・客単価の上昇傾向は継続すると思うが、低価格商品の提案を減らしている分、浮動層の減少が予想され、急激な客数増加は望めない。
	衣料品専門店（店長）	・消費者に緊縮スタイルが定着した中で、これから数か月先にヒットする商品の期待もなく、購買喚起できる環境下ではない。
	家電量販店（店長）	・当面でなく、将来の生活にも良い見通しがないため、家計支出を緩めない。また収入も減少傾向にある。
	乗用車販売店（経営者）	・個人、法人共に保有延長が多く、また減車傾向も出ている。そうしたことから総量を支える代替え需要の発生が低調で、回復には時間がかかる。
	住関連専門店（経営者）	・都市型のマンションは動きが見えるが、一戸建の住宅は前年度マイナスで、先行き不安等でどうしたらいいかわからない状況であり、変わらず悪い。
	その他専門店〔靴〕（経営者）	・総額表示での割高感が出て、消費の冷え込みに拍車がかかり、これ以上良くなることは望みにくい。
	その他専門店〔家電〕（経営者）	・デジタル家電は好調であるが、売れない商品との差が激しく、単価を下げないと苦戦を強いられる。また客の慎重な購買行動は依然続くため、変わらない。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・ガソリンスタンドにとって、春需のタイヤ等の需要期を迎えるが、ここ数ヶ月の顧客の購買動向を考慮すると、例年に比較して多くの需要は見込めない。また、公共事業が減少し、なおかつ、発注の端境期となるため、土木建設業界の需要増は期待できない。総じて現状より良くなる要素が見当たらない。一部の業種が回復しているが、当社の販売エリアの中には恩恵が期待できない。 ・鳥インフルエンザの影響が長引いた場合、一部の焼き鳥屋の経営が深刻な状況となる。当県は農業県のため、影響が出てくる。
	一般レストラン（経営者）	・ここ数か月間変化はない。歓送迎会の時期を控えているが、予約の状況が芳しくなく、個人客も今ひとつであり、数か月先も悪いままである。
	その他飲食〔そば〕（経営者）	・相変わらず周囲のオフィスビルに空室が目立ち、通りに活気が無い。すぐ隣のコンビニが今月中旬に閉店し空いたままである。通りの店が歯が欠けたように閉店し、人の流れが変わっている。
	観光型旅館（経営者）	・ここ数か月間、前年比で10～18%のマイナス状況が続いている。この先もこの傾向は続くが、今後大きく落ち込むとは考えられず、底を打った形でこのままの状況が続く。
	都市型ホテル（経営者）	・先月のイベントの結果は芳しくなかったが、今月のイベントの結果は上々であった。 ・新規参入も含め今後は業界のシェア争いがますます激しくなる。 ・歓送迎会のシーズンになるため販売に力を入れ、今後は婚礼受注確保の対策が必要である。 ・若年層の披露宴離れが進んでいるため、業界が一丸となって対策を打つ必要がある。
	都市型ホテル（スタッフ）	・年度末に向け出費の極端な抑制が始まる。また新年度に入ってから消費税総額表示に伴いマインドが冷え込み、賃金の問題も良い要素がない。 ・ますます二極化が進む中、良い企業よりも悪い企業の方が圧倒的に多いため、緩やかに回復という話は実感できない。
	通信会社（営業担当）	・3～4月の需要期を迎えるものの、IP電話や制度改正によって低価格化傾向が進み、業界全体で一時的にパイの縮小が見込まれる。
	遊園地（経営者）	・ハローワークにパートタイマーの求人を出した。求人が昨年より増加しているということで、一定の雇用回復は進んでいるようである。
やや悪くなる	百貨店（売場主任）	・今月好調であったのは冬物のクリアランスで、割引しての売上が主であったため、来月以降は春物プロバ品の販売となり正札の販売についてはやや悪くなる。
	スーパー（経営者）	・3月あたりから商品入れ替えのためのセールが始まるため、安売り合戦が激しくなる。それ以降の新商品に変わった時期、総額表示に変わった時期の対策が思い浮かばない。

		スーパー（店長）	・ディスカウントを打ち出したスーパーセンターが、競合で乱発しており、価格が下がっている。例えば500mlのペットボトルが1本68円など異常な単価下落である。 ・消費税の総額表示で人件費も相当額の支払いとなり、総額表示に対する客の印象も懸念される。
		衣料品専門店（経営者）	・4月からの消費税の総額表示により、客は若干の値上がりという印象を持つため、慣れるまでは悪くなる。
		住関連専門店（経営者）	・トレンドスタイルに変化がなく、ヒット商品も寿命が短く、全体的に期待できない。
		その他専門店〔酒〕（営業担当）	・消費税法の改正により在庫管理が変わるため、かなりの在庫調整が起きる。4～5月は先行き不透明であり、酒類は悪くなることが予想される。
		都市型ホテル（経営者）	・2～3か月先は総会の時期である。予約は入り始めているが、人数の縮小が止まらず、売上も減少するため、やや悪くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・駅前に4月に200室規模のビジネスホテルが1軒、7月に250室規模のビジネスホテルがオープンする。当市の水準では大型のホテルとなるが、客の選択の幅が広がり、よりリーズナブルな価格のホテルに客が流れるため、厳しい戦いになる。
	悪くなる	スーパー（経営者）	・客数や客単価の下落が依然として続いており、回復の兆しがまったく無い。 ・建設業を中心に倒産が増え、雇用状況等その他の要因も改善されておらず、まだまだ悪化する。
		スーパー（店長）	・4月下旬予定で2km圏内に大型食品スーパーが出店する。商圈がかなり重複しており、客数、売上共に10%以上の影響が出るものと見ている。
		タクシー運転手	・客が少なくなっている状況で、タクシーだけが増え昨年より500台程度増車しており、今後も増車する計画になっている。タクシー業界の規制緩和は破滅的な効果しかなく、客にとってもサービスの低下以外の何ものでもない。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		輸送業（従業員）	・ヒット商品関連業からの輸出入貨物の引き続いての伸長が期待できる。フォワーダー各社もリストラから積極的な営業展開をしており、その効果が出てくる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・アメリカのBSE問題が、全体に影響を与えている。これが長期化する様相を呈し、悪いまま変わらない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・為替水準が現状の水準で推移するのであれば、やや好転する可能性はあるが、また以前のように再び105円を割るようであれば景況感は更に悪化する。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・受注量が増えているところもあるが、一時的なもので先々の見通しは立っていない。
		金融業（営業担当）	・現状では景気に底打ち感があり今後期待ができる半面、地方交付税の減額による地方財政の逼迫は今後無視できない影響を及ぼす。
		広告代理店（従業員）	・価格の見直し及び引き下げは、ほぼやり尽くした感がある。そのためこの状況が維持され、年度が変わっても今年の価格とほぼ同額で推移する。
		経営コンサルタント	・企業のマインドが高まっているのは間違いないが、まだ様子見の状況が暫く続く。
		その他企業〔管理業〕（従業員）	・親会社が良くなった背景には、出入り業者への値引き要請などもあるため、相当良くならなければ景気は良くなるしない。
	やや悪くなる	食料品製造業（経営者）	・BSEや鳥インフルエンザの発生で、全体的には水産業への追い風を感じるが、消費税の総額表示以降への切り替えに伴い、一部量販店からの値下げ要請もあり、今後の収益悪化が懸念される。
		繊維工業（総務担当）	・厳しい状況である。繊維業界の回復は遠い先になることは必定でいかに生き残りをかけるかの模索が続いている。中国からの流入品も依然として続いており、今も脅威となっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・年度末の追い込みが一段落つくのか、4月以降は今現在不確定な状況である。 ・開発情報はけっこうあるが具体的な物件は見えない状況である。
		建設業（経営者）	・国、地方の来年度予算案が出そろったものの、いずれも公共事業が前年比ダウンで明るい見通しが無い。民間企業の回復がいわゆる、まだ建設業までの波及は感じられない。

		<p>広告代理店（営業担当）</p> <p>その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）</p>	<p>・これまで広告業界をけん引してきた携帯電話各社の勢いが鈍化している。具体的には3月も減少しており、4月以降が見えない状況である。</p> <p>・4月の消費税総額表示は、メーカー側で端数を切り捨てなければならない状況も出てきている。実質的な値下げにつながり売上減少や値引き競争に拍車がかかる懸念がある。</p>
	悪くなる	<p>農林水産業（従業者）</p> <p>コピーサービス業（経営者）</p>	<p>・昨年の収入が少なかったため、今年の生産に必要な資材の購入を安価なものにしている。そのため良い生産物を収穫できないことになるが、仕方がないという雰囲気である。</p> <p>・店舗関係は来客数が減少している。また物件数も例年より少ないのが現状であり、景気が回復しているとは当地では考え難い。しかし首都圏での景気回復が将来的に当地にも少しずつ浸透してくる。</p>
雇用 関連	良くなる	人材派遣会社（社員）	・製造業務への派遣解禁は追い風であり、潜在ニーズは高く、既に複数名単位で数社から引き合いが来ている。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・年度末で派遣契約が満了となる契約が多い。入札によって受注した契約が大半であり、新年度以降の受注については不透明である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告の動きが多少良くなってきている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・各企業の採用に対するマインドが高くなっている。また守りから積極的な攻めに経営戦略を転換している企業が増えていることから、全般的に変わらないか若しくは上向く。
		職業安定所（職員）	・製造業の一部を除き、県の来年度予算の大幅削減が明らかとなった建設業をはじめ、ますます影響が拡大している鳥インフルエンザ等、各業種に渡り先行きが懸念されている。
職業安定所（職員）		・求人の動きが低調で、また一件ごとの求人数が少なく、雇用面で拡大基調を迎えるにはもう少し時間がかかる。	
職業安定所（職員）		・新規求人に占める業務請負の割合が多く、短期的な雇用ばかりで、今後新規求人の増加が見込めない。	
	職業安定所（職員）	・求人の量は増えても、内容、質の面が良くなる状況になく、新卒者の採用が厳しい状況が続いている。	
	やや悪くなる		
	悪くなる		